

【表紙】

【提出書類】

有価証券報告書

【根拠条文】

金融商品取引法第24条第1項

【提出先】

関東財務局長

【提出日】

2022年3月29日

【事業年度】

第37期（ 膳 匠 枋 申 腕 棧 度 ）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

(2) 提出会社の経営指標等

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 第36期及び第37期の持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
3. 2017年9月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、第33 E03478)

年月	事項
2014年3月 2014年6月 2014年10月	震災後、初の被災地への出店「ペッパーランチイオンタウン釜石店」開店 ペッパーランチ5年ぶりの路至噶 鷄 杏 馱 嚼狹馱 鷄 LA
2014年12月 2015年3月	
2015年3月 2016年1月 2016年8月 2017年2月	
2017年4月	
2017年5月 2017年8月 2018年2月 2018年6月 2018年8月 2018年9月 2018年11月	
2018年11月 2019年1月 2019年7月 2019年10月 2019年12月 2020年6月 2020年8月 2021年12月	

委託事業は、当社所有店舗の運営を受託者が行い、店舗の業績に応じて受託者に業務委託料を支払うものでありま

5【従業員の状況】

(1) 提出会社の状況

--	--	--	--

(6) 安全管理、食材調達ルートの多元化

競合の参入について

当社のサービスの特徴は、当社オリジナルの特殊鉄皿を感熱センサー付電磁調理器で急速加熱し、食材を盛り付けてお客様に提供する調理システムであり、当社は感熱センサー付電磁調理器及び鉄皿について特許を取得して参入障壁を高くしておりましたが、2020年にベッパランチ事業を譲渡した事で、そのオリジナル性が薄まりました。また主力事業である、いきなり！ステーキは単一業態を広域に多店舗展開することにより、お客様への認知度を高め、ブランド価値の向上に努めてまいりましたが、類似した事業を展開する企業との競合が本格化した場合には、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

単一食材（牛肉）への依存について

当社は特定産地の単一食材(牛肉)に依存しております。今後も現状以上に新たな産地の開拓や分散調達等のリスクヘッジに努めてまいります。しかしながら、新たな疫病の発生、天候不順・天災等の発生により、必要量の原材料確保が困難な状況になること、または、市場価格や為替相場の変動により、仕入れ価格が高騰し、売上原価が上昇することにより、当社の業績へ影響を及ぼす可能性があります。

E03478)

F C加盟者に対する債権管理について

当社は、F C加盟契約者に対して食材等の売掛金やロイヤリティ及び貸付金などの債権を有しております。
E03478)

(9) 減損会計について

(商品販売事業)

商品販売事業につきましては、「とんかつソース」、「冷凍ガーリックライス」、「冷凍ハンバーグ」、家庭でも味わえる「いきなり！ステーキセット」を各大手オンラインショップにて出店販売しました。また、12月24日より、いきなり！ステーキネットショップにて、新商品の「ボイルド牛すじ(味なし)」、「牛すじ煮込み」の販売を開始いたしました。しかしながら8月21日～9月20日の間、システム上のメンテナンスによる休業のため、収益が減少しております。

(c) 販売実績

当事業年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

--	--

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

当事業年度中において実施いたしました当社の設備投資の総額は53百万円となりました。その主な内容はいきなりステーキ事業における既存店に対する改修工事等による設備投資であります。

なお、当事業年度中に重要な影響を及ぼす設備の除却、売却 乱な影韻鏝擲研

1

2

3

4

5

6

7

8

9

E03478)

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	70,800,000
計	70,800,000

【発行済株式】

6 . 組織再編行為の際の新株予約権の取扱い

【自己株式等】

4 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの概要】

E03478)

(ト) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、役員が職務の遂行にあたり、期待される役割を十分に発揮できるようにするとともに、有用な人材を迎えることができるよう、候補者を被保険者として、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険（D&O保険）契約を締結しております。当該保険契約では、被保険者である役員等がその職務の執行に関し責任を負うこと、または、当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害につ

(2) 【 役員の状況】

役員一覧

男性11名 女性1名 (役員のうち女性の比率8.3%)

- (注) 1. 代表取締役副社長 一瀬健作は代表取締役社長CEO 一瀬邦夫の長男であります。
2. 取締役 稲田将人、山本孝之、横田響子の3名は、社外取締役であります。
3. 監査役 太田行信、栗原守之、藤居譲太郎の3名は、社外監査役であります。
4. 取締役 一瀬邦夫、一瀬健作、菅野和則、芦田秀満、猿山博人、佐野雄太、稲田将人、山本孝之、横田響子
9名の任期は2022年3月29日開催の定時株主総会から2年間であります。
5. 監査役 太田行信、栗原守之、2名の任期は2022年3月29日開催の定時株主総会から4年間あります。
6. 監査役 藤居譲太郎の任期は2020年3月26日開催の定時株主総会から4年間あります。

第5【経理の状況】

1．財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（1963年大蔵省令第59号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2021年1月1日から2021年12月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

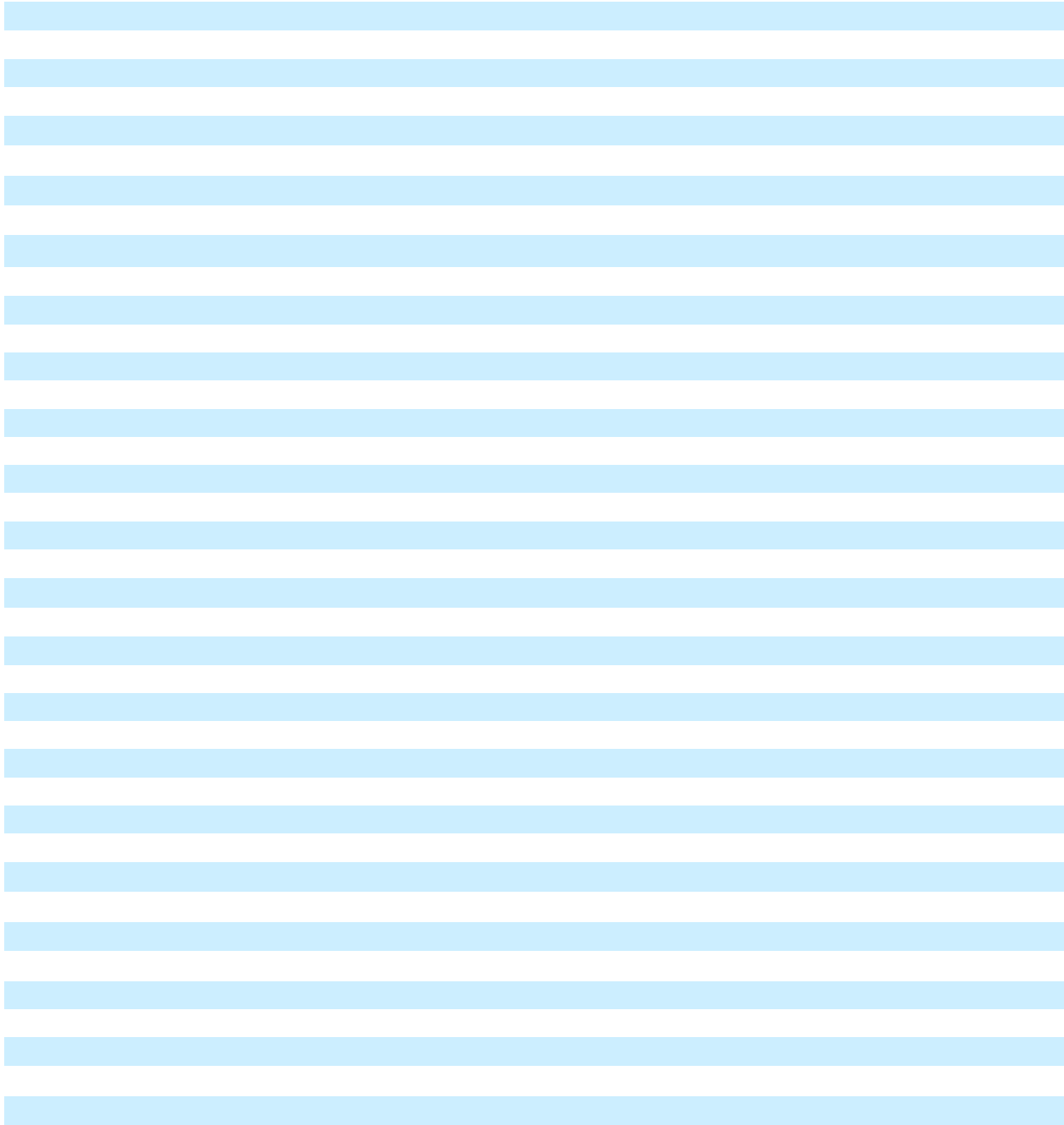
3．連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。

4．財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みを行っております。具体的には、会計基準等の内容を適切に把握し、財務諸表等を適正に作成できる体制を整備するため、公益財団法人財務会計基準機構へ加入しており

【損益計算書】

The image shows a redacted income statement table. It consists of 20 horizontal light blue bars stacked vertically, completely obscuring any text or data that might have been present. The bars are evenly spaced and cover the majority of the page's content area.

【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

【注記事項】

（継続企業の前提に関する事項）

- 5 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度88.6%、当事業年度86.6%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度11.4%、当事業年度13.4%であります。
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

当事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

--	--

当社は、必要な資金は銀行からの借入れにより調達しております。資金運用については安全性の高い金融資産で運用しております。デリバティブ取引は銀行より借入時、金利変動のリスクヘッジを図るためのみ行い、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金及び未収入金は取引先等の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な取引先の信用状況を把握する体制としています。ただし、取引先の多くは当社のフランチャイズ加盟企業であり、開店時にフランチャイズ保証金を預かっているため、リスクが低減されております。

投資有価証券は主に業務上の関係を有する企業の株式であります。上場株式については、市場価格の変動リスクに晒されており、四半期ごとに時価の把握を行っております。非上場株式及び関係会社株式については定期的に発行体の財政状態等を把握しております。

E03478)

負債

(1) 買掛金、(2) 未払金、(3) 短期借入金
E03478)

4. 借入金の決算日後の返済予定額
前事業年度(2020年12月31日)

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
短期借入金	2,330	-	-	-	-	-
長期借入金	2,001	897	726	572	85	64
合計	4,331	897	726	572	85	64

当事業年度(2021年12月31日)

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
短期借入金	1,576	-	-	-	-	-
長期借入金	1,083	742	549	67	50	-
合計	2,659	742	549	67	50	嘔菊絆篤 悞嘔

当事業年度（2021年12月31日）

(2) ストック・オプションの規模及びその変動状況
E03478)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】
前事業年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

(2) 【主な資産及び負債の内容】

資産の部

1) 現金及び預金

区分	金額 (百万円)
現金	47
預金	
当座預金	18
普通預金	4,258
定期預金	30
小計	4,307
合計	4,355

2) 売掛金

負債の部
1) 買掛金

相手先	金額(百万円)
エスフーズ株式会社	698

(3) 【その他】
E03478)

第6【提出会社の株式事務の概要】

第7【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

当社には親会社等はありません。

2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類並びに確認書

事業年度（第36期）（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）2021年3月26日関東財務局長に提出。

(2) 内部統制報告書及びその添付書類

2021年3月26日関東財務局長に提出。

(3) 四半期報告書及び確認書

（第37期第1四半期）（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）2021年5月14日関東財務局長に提出。
E03478)

E03478)

店舗固定資産の減損	
監査上の主要な検討事項の内容及び決定理由	監査上の対応
<p>注記事項（重要な会計上の見積り）に記載されているとおり、会社は、当事業年度において、事業環境の変化に伴い収益性が低下したことにより、店舗固定資産の減損損失を858百万円計上している。その結果、いきなり！ステーキ事業セグメントの固定資産は2,597百万円、レストラン事業セグメントの固定資産は48百万円となっている。</p> <p>会社は、各店舗を独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位としている。減損の兆候がある店舗について減損損失の認識の判定を行い、減損損失を認識すべきであると判定した場合は帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失</p>	

